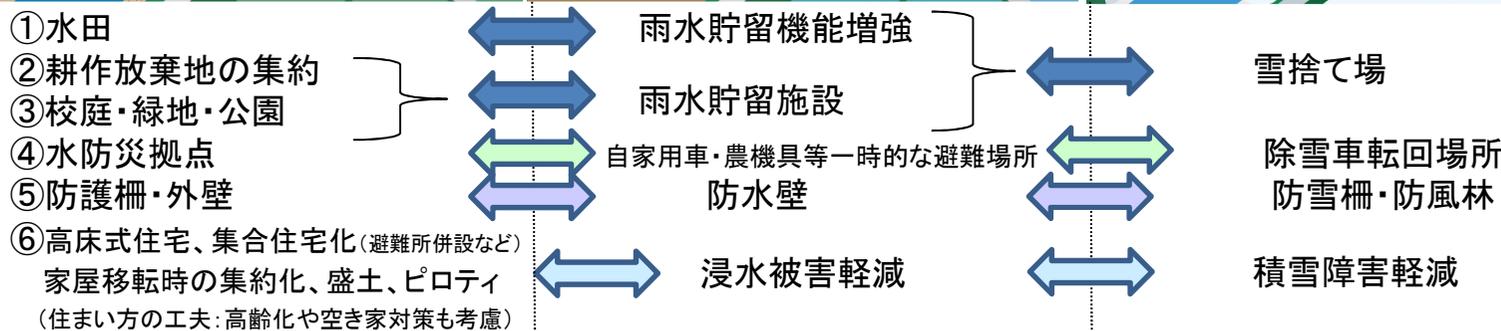
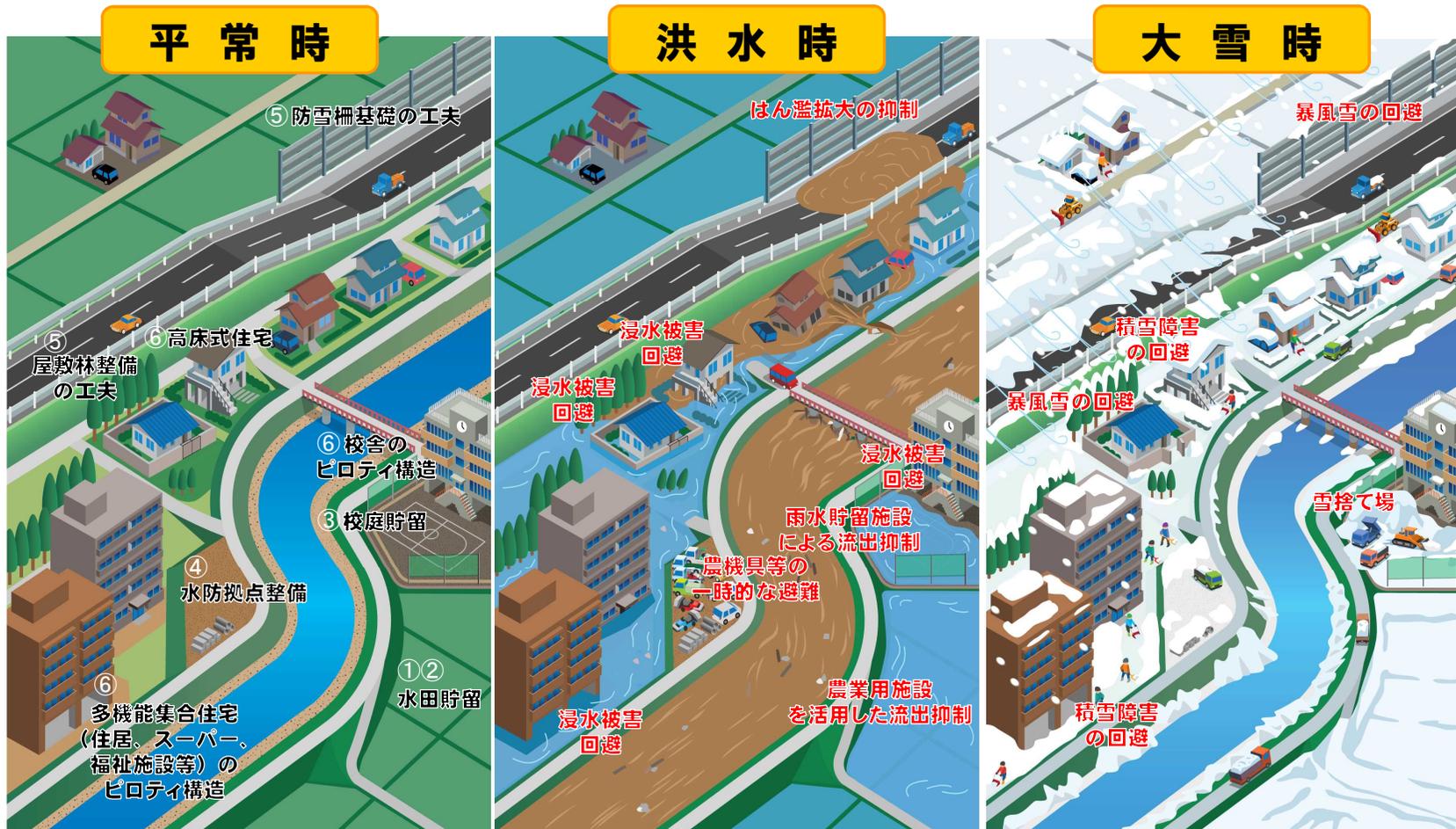


【農業や雪国等の東北地方の特性を考えた流域治水プロジェクトのメニュー(案)】
 (多機能インフラを念頭に～平常時・洪水時・大雪時～)

資料-5



多機能のイメージ

他水系の流域治水協議会での議論例

- 地区ごとの特徴・被害形態が様々なことを踏まえ、まちづくりとも連携した取り組みをパッケージ的【ミニ流域治水】に検討。
- 令和元年東日本台風で大きな被害が生じた郡山市や須賀川市等で議論を実施。

■阿武隈川上流

郡山ブロック 流域治水概要

【実施主体:国、県、市、大学、企業】

阿武隈川本川や支川の改修を進めるとともに、市街地の貯留施設整備や災害リスクを考慮したまちづくりにより、郡山ブロックにおける浸水被害の軽減を図る。



流域治水の推進（広報の取組）

「阿武隈川上流 流域治水シンポジウム」を開催 ～水害から命を守るために～

1. 概要

近年激甚化・頻発化が懸念されている水害に備え、流域全体のあらゆる関係者（国・都道府県・市町村・企業・住民等）が協働して、水害を軽減させる治水対策、「流域治水」を計画的に推進する必要がある。

令和元年東日本台風で大きな被害が生じた阿武隈川において、流域関係者の水害への関心を更に高め、流域治水という新しい治水の考え方について理解を深めていただくため、シンポジウム（基調講演・パネルディスカッション）を開催。

2. 日時／聴講人数

- 日 時：令和3年6月20日(日)14:00-16:00
- 場 所：福島県福島市 こむこむ館
- 出演者：市長を含む10名（内2名Web参加）

3. 講演内容/講演者

- ・基調講演① 講演者：風間 聡(東北大学 教授)
『気候変動下における流域治水の必要性について』
- ・基調講演② 講演者：土井 邦裕(気象予報士)
『気候変動を気候変動下における世界』
- ・パネルディスカッション
『阿武隈川流域の推進に向けて』
- コーディネーター：長林 久夫(日本大学 名誉教授)
- スピーカー：
 - ・木幡 浩(福島市長)・橋本 克也(須賀川市長)
 - ・風間 聡(東北大学 教授)・川越 清樹(福島大学 教授)
 - ・小川 則雄(郡山中央工業団地会 会長)
 - ・浅沼 秀俊(福島県建設業協会 副会長)
 - ・土井 邦裕(気象予報士)
 - ・佐藤 健司(東京海上日動火災保険(株) 次長)
 - ・福島 陽介(福島河川国道事務所 事務所長)

基調講演の様子



風間 聡(教授)



土井 邦博(気象予報士)

パネル展示の状況



パネルディスカッションの様子



長林 久夫(日本大学 名誉教授)



福島陽介
(事務所長)

木幡 浩
(福島市長)



橋本 克也(須賀川市長)



川越 清樹
(福島大学 教授)

小川 則雄
(郡山中央工業
団地会長)



佐藤 健司
(東京海上日動火災保険(株))